資料6

大船渡湾における海岸堤防高さの設定について

平成24年10月

岩手県

県民みんなで　力を合わせ　希望に向かって　一歩ずつ
がんばろう！ 岩手

海岸堤防の高さの設定について（その１）

・岩手県沿岸の海岸堤防高さの設定については、
平成23年９月26日及び10月20日に公表

・海岸堤防高さの設定にあたっては、
岩手県沿岸を24の地域海岸に区分して検討

・大船渡湾の海岸堤防高さについては、
平成23年10月20日にT.P.+7.2mと設定し公表

岩手県における地域海岸設定の考え方

以下の点を考慮し、同一の津波外力を設定しうると判断される
一連の区間を地域海岸として設定

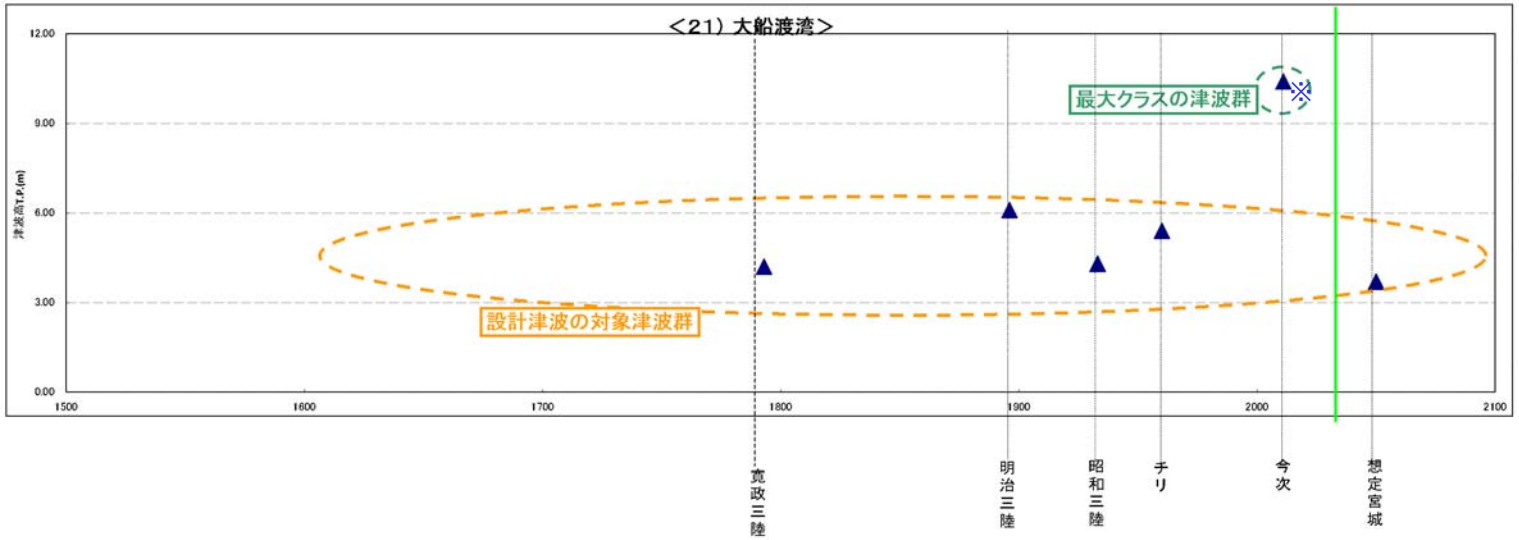
✓同一の湾で区分
✓湾口防波堤が計画されている湾は、湾口防波堤の内外で区分
✓海岸線の向きが一様な区間で区分

24の地域海岸に区分

平成23年10月20日に設定した大船渡湾の海岸堤防高さについて

■設計津波の選定

※今次津波（東日本大震災津波）の津波高は、
湾口防波堤がない場合を想定した計算水位



■海岸堤防高の設定

地　域 海岸名	今次津波 痕跡高	設計津波		設計津波の水位による堤防高設定	【設計津波の水位による堤防高設定】＞【被災前計画高】のチェック	地域海岸内堤防高	被災前計画堤防高
		対象津波	設計津波の水位				
大船渡湾 ※4	10.4	明治三陸 地震津波	6.2 ※5	7.2	○	7.2	3.0～3.5

※4　久慈湾、釜石湾及び大船渡湾は、湾口防波堤との組み合わせによる対策としている。
※5　大船渡湾における湾口防波堤については、その構造について検討中であり、今後設計津波の水位が変更となる場合がある。

大船渡湾の海岸堤防高さの変更について（その1）

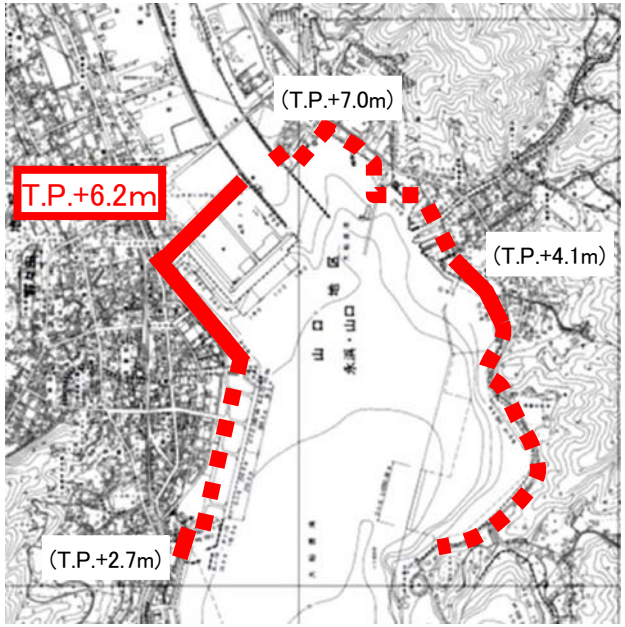
湾内の海岸保全施設の計画検討の進捗を踏まえ、海岸堤防高さを設定

↓

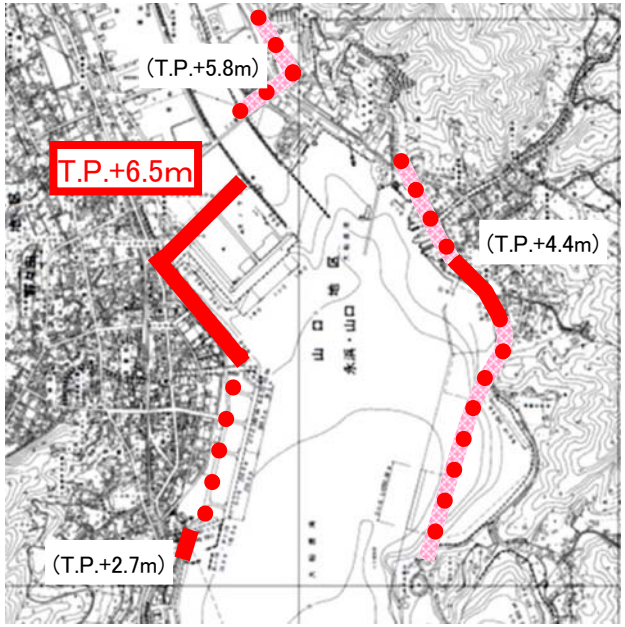
大船渡湾の設計津波の水位：T.P.+6.2m　→　T.P.+6.5m
大船渡湾の海岸堤防高さ　：T.P.+7.2m　→　T.P.+7.5m

設計津波の水位を求めるシミュレーション【当初】
・防護ラインは被災前の計画ライン上を基本とする
（被災前に計画がなかった区間は、海岸線付近に想定）
・設計津波の水位の評価にあたっては、被災前の計画ライン上を対象

設計津波の水位を求めるシミュレーション【変更】
・被災前に計画がなかった区間についても、
計画検討の進捗を踏まえて防護ラインを設定
・さらに、設計津波の水位の評価に対象に追加



設計津波の水位



防護ラインを
変更した区間

大船渡湾の海岸堤防高さの変更について（その2）

■当初

地　域 海岸名	今次津波 痕跡高	設計津波		設計津波の水位による堤防高設定	【設計津波の水位による堤防高設定】>【被災前計画高】のチェック	地域海岸内堤防高	被災前計画堤防高
		対象津波	設計津波の水位				
大船渡湾	10.4	明治三陸地震津波	6.2	7.2	○	7.2	3.0～3.5

■変更

地　域 海岸名	今次津波 痕跡高	設計津波		設計津波の水位による堤防高設定	【設計津波の水位による堤防高設定】>【被災前計画高】のチェック	地域海岸内堤防高	被災前計画堤防高
		対象津波	設計津波の水位				
大船渡湾	10.4	明治三陸地震津波	6.5	7.5	○	7.5	3.0～3.5